



## 地震はどうして起こるの

### プレートとプレートの境目に、ゆがみがたまる

地球の表面は、厚さが70～100キロメートルの、十数枚の岩石の板で、おおわれています。この岩石の板をプレートといいます。プレートには、大陸プレートや海洋プレートがあり、大陸や海をのせて、ゆっくり動いています。

海をのせた海洋プレートが、陸をのせた大陸プレートの下に、もぐりこむとき、海洋プレートは、大陸プレートをいっしょに、引きずりこもうとします。

プレートの動きは、1年に数センチメートル、とゆっくりですが、これが数十年から数百年も続くと、プレートとプレートの境目に、大きなゆがみがたまります。

### ゆがみがもどろうとして、地震が起こる

プレートとプレートの境目に、ゆがみがたまると、大陸プレートは、もとにもどろうとして、はね返ります。このときに、大きな地震が起こります。日本の太平洋側の、沖合いで起こる地震の多くは、このようなしくみで起こる、と考えられています。

また、プレートの境目にかかる力が、プレートの中にもゆがみをつくり、岩ばんが割れて地震が、起こることもあります。日本の内陸で起こる地震の多くは、このようにして起こる、と考えられています。（監修・国司 真）

